



作品名 「増税された税金」

大阪府立大塚高等学校 三年 井上 里華

今年の10月に、消費税が8%から10%に増税されます。その増税された2%の税金は、社会保障関係や公共事業関係、文教及び科学振興費のために使ってほしいと思います。

まず、なぜ社会保障関係がいいかという、日本は今、急激に高齢化が進んでいます。そのために、年金や介護、生活保護に必要なお金が増えます。1人でも多くの高齢者の方々が、生活しやすい環境をつくれるのなら、増税された税金を使って、実現させてほしいなと思います。

次に、なぜ公共事業関係かという、日本は自然災害がとて多く、まだ復旧されていない地域がたくさん残っているからです。東日本大震災からもう8年も経っていますが、まだまだ何も進んでいない地域がありました。でも災害は、次から次へと起きていて、復旧を待っている地域が増えるばかりです。そんな地域が少しずつでも減って行って、被災された方々が今よりも生活しやすいようになってほしいと思うので、公共事業関係にも税金を使ってほしいと思いました。

そして、文教及び科学振興費になぜ税金を使ってほしいかという、家庭の経済的理由によって、高校や大学への進学を断念する人がいます。学校に通いたくても通えない人たちのために、税金を使って行ってほしいと思います。これからの未来を生きて活躍していく可能性をもっている学生みんなに、同じように授業を受けられるようになって行ってほしいです。

私は、せつかく税金を8%から10%へ増税をするのなら、日本の国民のひとりひとりが生活をしやすいような、世の中になって行ってほしいと、心から思います。他にも、震災などにあってしまって、復興や復旧などを待っているような人たちや、世界中の生活に苦しんだり困ったりしているような人たちにも安心して毎日生活をできるようになってほしいと思うので、誰かのために税金を使ってほしいです。

